

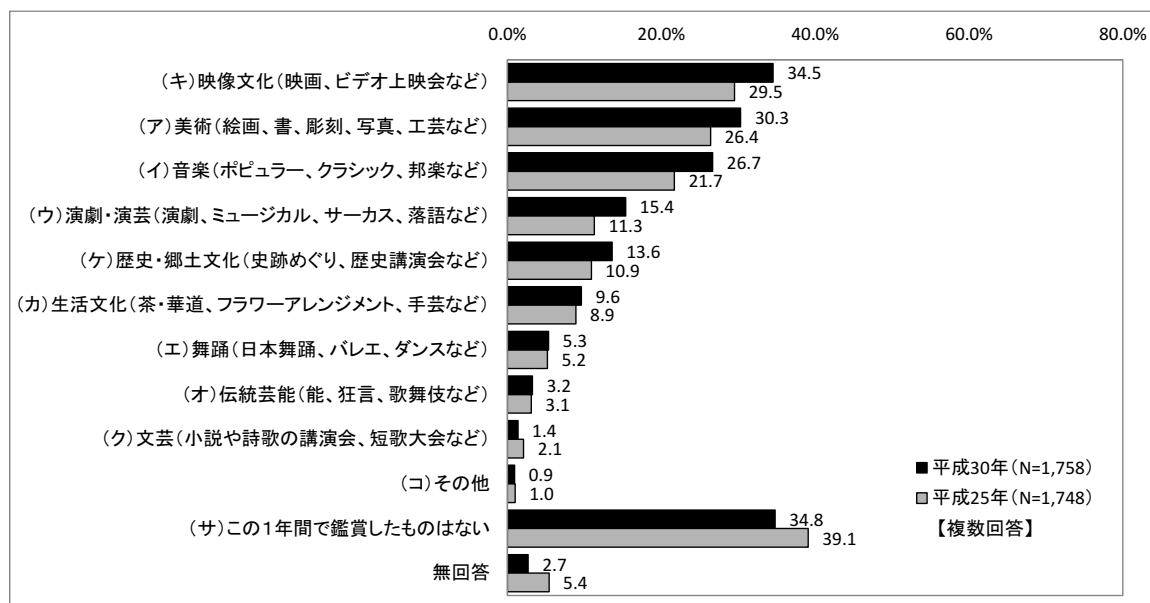
第5章 文化・芸術

5-1 文化・芸術の鑑賞

(1) 文化・芸術の鑑賞経験

問 27 次の中で、あなたがこの1年間に鑑賞したものはありますか。

(テレビ・CD・DVDなど自宅での鑑賞を除きます。)



- この1年間の文化・芸術の鑑賞経験は「映像文化（映画、ビデオ上映会など）」が34.5%で最も高く、前回の調査と比較すると、ほとんどの項目において鑑賞経験が高い。

◆属性別特徴

【性別】ほとんどの項目で女性の割合が高い。特に「生活文化」「演劇」「映像文化」「美術」「音楽」で男性との差が大きい。

男性は「この1年間で鑑賞したものはない」が40.9%と高く、女性を11.3ポイント上回っている。

【年齢別】「映像文化」では年齢が低くなるほど割合が高くなる傾向にあり、「美術」では年齢が高くなるほど割合が高くなる傾向にある。

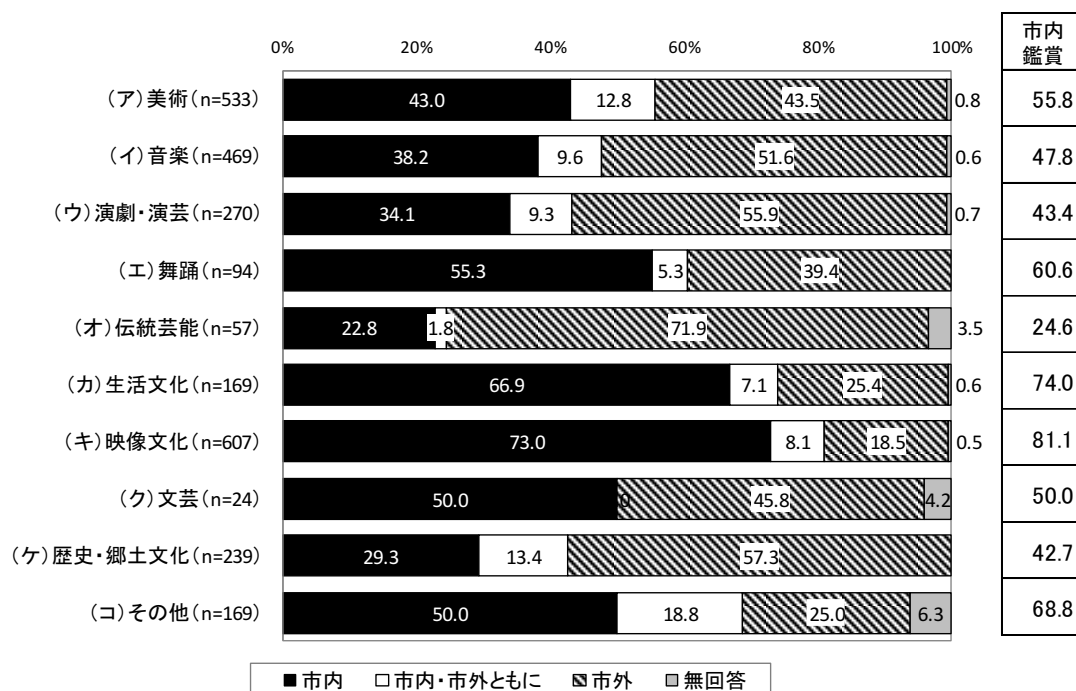
【ブロック別】「映像文化」では西部B（三瀨）と中央部が4割を超えて他のブロックより高い。

「この1年間で鑑賞したものはない」では西部A（城島）が他のブロックより高い。

		標本数（票）	文化・芸術の鑑賞（%）											この1年間で鑑賞したものはない	無回答
			美術（絵画、書、彫刻、写真、工芸など）	音楽（ポピュラー、クラシック、邦楽など）	演劇・演芸（演劇、ミュージカル、サーカス、落語など）	舞踊（日本舞踊、バレエ、ダンスなど）	伝統芸能（能、狂言、歌舞伎など）	生活文化（茶・華道、フラワーアレンジメント、手芸など）	映像文化（映画、ビデオ上映会など）	文芸（小説や詩歌の講演会、短歌大会など）	歴史・郷土文化（史跡めぐり、歴史講演会など）	その他			
全体		1,758	30.3	26.7	15.4	5.3	3.2	9.6	34.5	1.4	13.6	0.9	34.8	2.7	
性別	男性	755	26.2	22.8	10.1	3.4	2.5	3.0	30.1	1.2	17.1	0.7	40.9	3.3	
	女性	984	33.9	29.9	19.3	6.8	3.9	14.8	38.5	1.5	11.1	1.1	29.6	2.2	
	回答しない	15	6.7	6.7	13.3	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	66.7	0.0	
年齢別	18～29歳	214	23.8	33.2	19.6	6.1	3.3	7.5	53.7	2.8	14.5	0.9	28.0	2.3	
	30歳代	271	23.2	27.3	17.0	3.7	1.8	4.8	41.7	0.7	9.2	0.4	33.2	1.8	
	40歳代	318	23.3	27.4	13.2	4.1	2.5	7.5	37.4	1.6	14.5	0.3	39.0	1.3	
	50歳代	332	31.0	26.5	13.3	2.1	1.8	9.6	34.9	0.6	16.6	1.8	34.3	1.2	
	60歳代	363	37.7	24.8	17.1	6.6	4.1	15.4	27.8	1.7	13.2	1.4	35.8	3.0	
	70歳以上	249	41.4	22.9	12.9	10.8	6.4	11.2	16.9	1.2	13.7	0.4	35.3	6.8	
ブロック別	東部A	128	17.2	24.2	10.2	5.5	0.8	7.8	33.6	0.8	9.4	0.8	34.4	6.3	
	東部B（田主丸）	101	27.7	22.8	11.9	7.9	2.0	11.9	34.7	2.0	11.9	1.0	34.7	5.9	
	北部A	155	27.1	20.6	16.1	2.6	0.6	9.0	35.5	1.3	16.1	0.6	41.9	1.9	
	北部B（北野）	106	30.2	20.8	15.1	4.7	2.8	9.4	36.8	0.9	15.1	0.9	34.9	0.0	
	中央東部	225	34.2	30.7	16.4	7.6	5.3	12.4	32.9	0.9	16.9	0.4	32.0	1.3	
	南東部	171	32.2	26.9	18.7	5.3	2.9	11.7	32.2	1.8	15.8	1.2	32.2	2.3	
	中央部	227	38.8	37.4	20.7	8.8	4.8	10.6	40.5	0.9	14.5	0.9	27.3	1.3	
	中央南部	313	36.7	30.4	15.3	4.2	2.9	7.7	31.6	1.9	14.4	1.0	33.5	3.8	
	南西部	157	22.9	19.1	10.8	1.9	1.9	8.3	31.8	0.6	8.3	0.6	43.3	3.2	
	西部A（城島）	72	20.8	19.4	8.3	8.3	5.6	8.3	26.4	2.8	11.1	4.2	48.6	1.4	
	西部B（三瀨）	98	21.4	20.4	15.3	2.0	4.1	7.1	41.8	1.0	9.2	0.0	34.7	2.0	

(2)文化・芸術の鑑賞場所

問 27 この1年間で文化・芸術を鑑賞した場所はどこですか。



● 「市内」と「市内・市外ともに」をあわせた『市内鑑賞』が一番多いのは映像文化で81.1%。

◆属性別特徴

【性別】女性は「(エ) 舞踊」「(カ) 生活文化」などで『市内鑑賞』が男性より高く、男性は「(オ) 伝統芸能」などで女性より高い。

【年齢別】「(ウ) 演劇・演芸」では年齢が高くなるほど『市内鑑賞』の割合が高くなる傾向にある。

【ブロック別】「(キ) 映像文化」では東部A、南東部、東部B（田主丸）で『市内鑑賞』が高く、西部A（城島）、西部B（三潴）は低い。

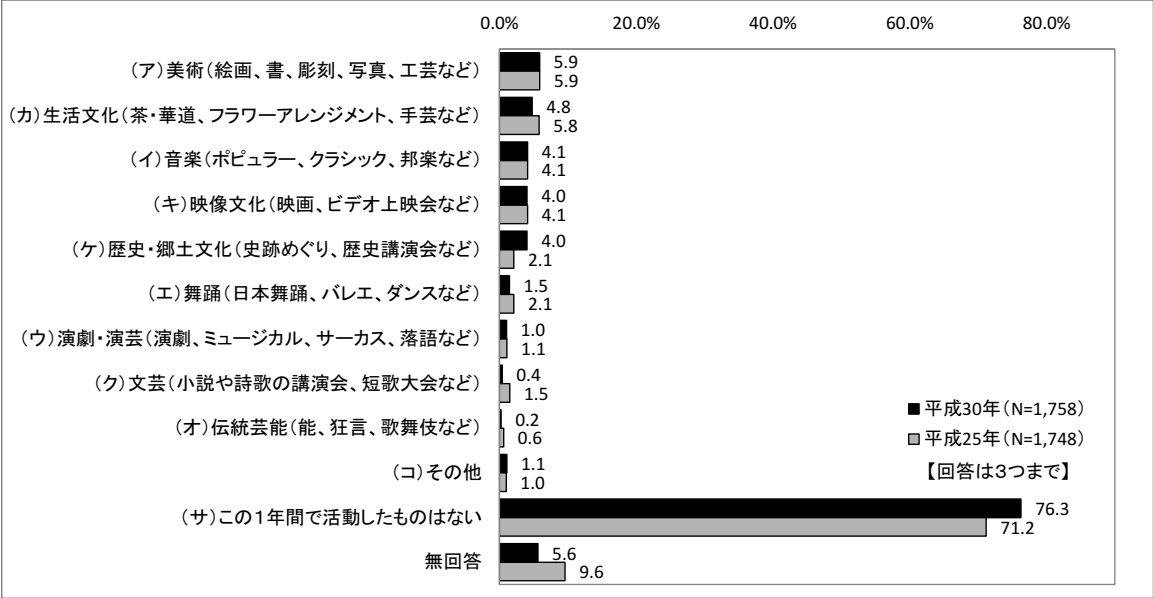
「(ア) 美術」では東部A、北部A、中央東部で『市内鑑賞』が6割以上と高い。

文化・芸術の鑑賞場所(%)																			
		全体	標本数 (票)	『市内鑑賞』	⑦美術	標本数 (票)	『市内鑑賞』	⑧音楽	標本数 (票)	『市内鑑賞』	⑨演劇・演芸	標本数 (票)	『市内鑑賞』	⑩舞踊	標本数 (票)	『市内鑑賞』	⑪伝統芸能	標本数 (票)	『市内鑑賞』
全体			1,101	77.7		533	55.8		469	47.8		270	43.4		94	60.6		57	24.6
性別	男性		422	75.8		198	57.0		172	46.5		76	46.1		26	46.1		19	36.8
	女性		672	79.2		334	55.1		294	48.3		190	42.1		67	67.2		38	18.4
	回答しない		5	40.0		1	0.0		1	100.0		2	50.0		1	0.0		0	0.0
年齢別	18～29歳		149	74.5		51	43.1		71	30.9		42	30.9		13	23.1		7	42.9
	30歳代		177	72.3		63	44.5		74	39.2		46	30.4		10	30.0		5	20.0
	40歳代		190	78.4		74	41.9		87	41.3		42	50.0		13	46.2		8	25.0
	50歳代		214	73.8		103	42.8		88	42.1		44	47.8		7	42.9		6	33.3
	60歳代		223	82.5		137	66.4		90	61.1		62	45.2		24	75.0		15	6.7
	70歳以上		144	85.4		103	77.7		57	77.2		32	59.4		27	88.9		16	31.3
ブロック別	東部A		76	82.9		22	68.2		31	51.6		13	53.9		7	85.7		1	0.0
	東部B(田主丸)		60	76.7		28	39.3		23	43.4		12	16.7		8	62.5		2	0.0
	北部A		87	86.2		42	64.3		32	50.0		25	60.0		4	50.0		1	0.0
	北部B(北野)		70	81.4		32	53.2		22	54.6		16	43.8		5	80.0		3	66.7
	中央東部		150	79.3		77	62.4		69	46.4		37	48.6		17	53.0		12	25.0
	南東部		112	75.9		55	52.7		46	56.5		32	43.8		9	33.3		5	0.0
	中央部		162	82.7		88	53.4		85	47.1		47	38.3		20	55.0		11	36.4
	中央南部		196	71.4		115	52.2		95	49.4		48	29.2		13	69.2		9	11.1
	南西部		84	77.4		36	58.3		30	33.3		17	58.8		3	66.7		3	0.0
	西部A(城島)		37	64.9		15	53.4		14	64.2		6	83.4		6	66.7		4	25.0
西部B(三猪)		62	69.4		21	57.2		20	25.0		15	40.0		2	100.0		4	75.0	
全体		⑫生活文化	標本数 (票)	『市内鑑賞』	⑬映像文化	標本数 (票)	『市内鑑賞』	⑭文芸	標本数 (票)	『市内鑑賞』	⑮歴史・郷土文化	標本数 (票)	『市内鑑賞』	⑯その他	標本数 (票)	『市内鑑賞』			
性別	男性		169	74.0		607	81.1		24	50.0		239	42.7		16	68.8			
	女性		23	56.5		227	80.6		9	44.4		129	39.6		5	100.0			
	回答しない		146	76.7		379	81.3		15	53.3		109	46.7		11	54.6			
	回答しない		0	0.0		0	0.0		0	0.0		1	0.0		0	0.0			
年齢別	18～29歳		16	37.6		115	77.4		6	33.3		31	9.7		2	50.0			
	30歳代		13	61.5		113	78.7		2	50.0		25	40.0		1	0.0			
	40歳代		24	62.5		119	79.8		5	20.0		46	43.5		1	100.0			
	50歳代		32	71.9		116	79.3		2	50.0		55	38.2		6	66.7			
	60歳代		56	85.7		101	91.0		6	66.7		48	52.1		5	80.0			
	70歳以上		28	89.3		42	81.0		3	100.0		34	67.6		1	100.0			
ブロック別	東部A		10	100.0		43	90.7		1	100.0		12	50.0		1	100.0			
	東部B(田主丸)		12	66.7		35	88.6		2	50.0		12	41.7		1	0.0			
	北部A		14	64.3		55	87.3		2	50.0		25	24.0		1	0.0			
	北部B(北野)		10	90.0		39	71.8		1	0.0		16	50.0		1	100.0			
	中央東部		28	82.2		74	87.8		2	100.0		38	50.0		1	100.0			
	南東部		20	70.0		55	89.1		3	66.7		27	51.8		2	100.0			
	中央部		24	79.2		92	78.3		2	0.0		33	51.5		2	50.0			
	中央南部		24	70.8		99	78.8		6	33.3		45	42.2		3	66.7			
	南西部		13	61.6		50	74.0		1	100.0		13	46.2		1	100.0			
	西部A(城島)		6	66.7		19	63.2		2	100.0		8	12.5		3	66.7			
西部B(三猪)		7	57.1		41	68.3		1	0.0		9	11.1		0	0.0				

5－2 文化・芸術の活動

(1)文化・芸術の活動経験

問 28 次の中で、あなたがこの１年間で実際に活動したものはありますか。



●この１年間の文化・芸術の活動経験は「この１年間で活動したものはなし」が7割を超えている。

◆属性別特徴

【性別】女性は「生活文化」「美術」などで男性より高い。

【年齢別】「この1年間で活動したものはない」は30～40歳代で高い。

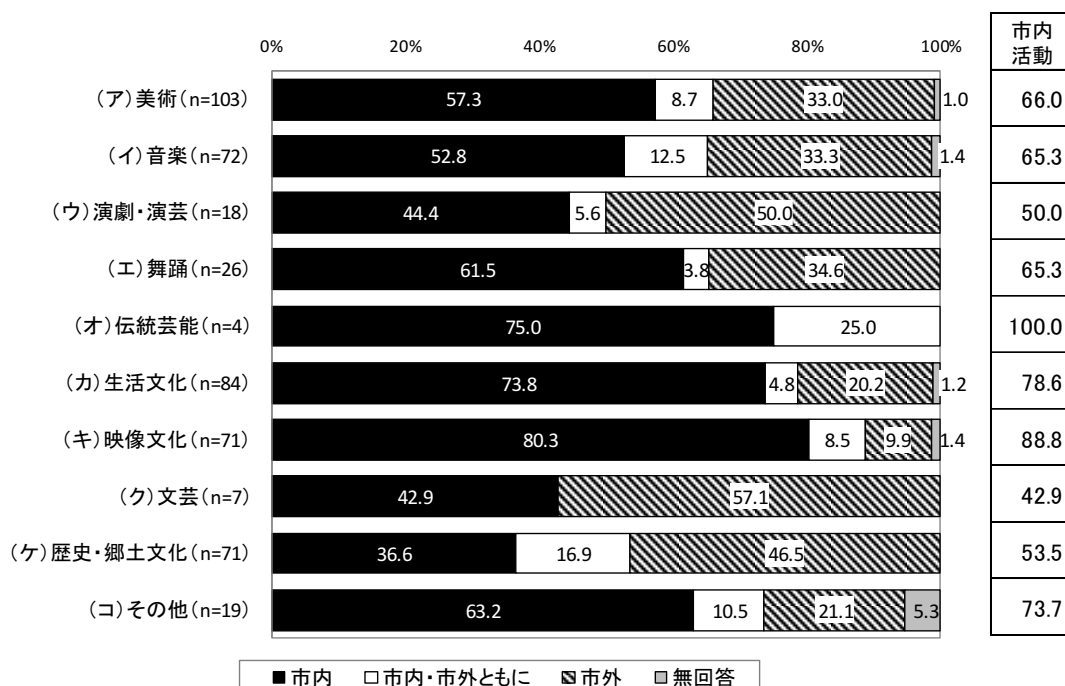
【ブロック別】「生活文化」では東部B（田主丸）が他のブロックより高い。

「この1年間で活動したものはない」は北部B（北野）、西部B（三瀧）で高く、東部B（田主丸）で低い。

		標本数（票）	文化・芸術の活動（％）											
			美術（絵画、書、彫刻、写真、工芸など）	音楽（ポピュラー、クラシック、邦楽など）	演劇・演芸（演劇、ミュージカル、サーカス、落語など）	舞踊（日本舞踊、バレエ、ダンスなど）	伝統芸能（能、狂言、歌舞伎など）	生活文化（茶・華道、フラワーアレンジメント、手芸など）	映像文化（映画、ビデオ上映会など）	文芸（小説や詩歌の講演会、短歌大会など）	歴史・郷土文化（史跡めぐり、歴史講演会など）	その他	この１年間で活動したものはない	無回答
全体		1,758	5.9	4.1	1.0	1.5	0.2	4.8	4.0	0.4	4.0	1.1	76.3	5.6
性別	男性	755	4.5	3.3	1.1	0.7	0.4	1.7	2.8	0.4	5.3	1.2	78.8	6.0
	女性	984	6.9	4.8	1.0	2.0	0.1	7.2	5.1	0.4	3.0	1.0	74.2	5.5
	回答しない	15	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	86.7	0.0
年齢別	18～29歳	214	6.1	4.2	1.4	0.9	0.0	2.3	7.5	0.5	3.3	0.5	73.8	5.6
	30歳代	271	4.1	4.4	0.7	0.7	0.0	2.6	2.2	0.4	1.5	0.0	84.9	4.1
	40歳代	318	3.1	4.4	0.6	0.9	0.0	5.0	3.8	0.0	2.8	0.3	82.7	3.5
	50歳代	332	4.8	2.4	1.2	1.5	0.0	4.2	2.4	0.3	3.6	2.1	78.9	4.5
	60歳代	363	7.2	4.1	1.4	2.2	0.8	7.2	5.0	1.1	5.5	1.4	71.9	6.1
	70歳以上	249	10.8	5.6	0.8	2.0	0.4	6.4	4.4	0.0	7.6	2.0	63.9	10.4
ブロック別	東部A	128	3.1	2.3	0.0	2.3	0.0	1.6	3.1	0.0	3.9	1.6	75.0	9.4
	東部B(田主丸)	101	8.9	5.0	1.0	2.0	0.0	11.9	5.0	1.0	1.0	3.0	66.3	9.9
	北部A	155	3.2	4.5	0.6	1.3	0.0	3.2	3.9	0.0	3.2	1.3	79.4	3.2
	北部B(北野)	106	3.8	2.8	0.0	1.9	0.0	4.7	3.8	0.0	1.9	0.0	82.1	3.8
	中央東部	225	6.2	3.6	1.3	2.2	0.4	4.9	5.3	0.4	4.0	0.4	74.7	5.8
	南東部	171	7.0	4.7	1.8	2.9	0.0	6.4	4.7	1.2	5.8	2.3	73.7	6.4
	中央部	227	7.0	4.8	1.3	1.3	0.0	5.3	3.1	0.4	7.0	0.4	74.9	4.0
	中央南部	313	5.1	4.5	0.6	0.3	0.3	2.6	5.1	0.0	4.2	1.0	78.9	5.1
	南西部	157	7.0	4.5	1.3	0.6	0.6	5.7	3.2	0.6	3.2	0.6	76.4	5.1
	西部A(城島)	72	9.7	6.9	2.8	2.8	1.4	4.2	4.2	1.4	5.6	1.4	73.6	8.3
	西部B(三瀧)	98	5.1	1.0	1.0	0.0	0.0	5.1	1.0	0.0	1.0	1.0	82.7	4.1

(2)文化・芸術の活動場所

問 28 この1年間で文化・芸術の活動をした場所はどこですか。



●映像文化、生活文化の『市内活動』が比較的多い。

◆属性別特徴

【性別】女性は「(エ) 舞踊」「(カ) 生活文化」などで『市内活動』が男性より高く、男性は「(イ) 音楽」などで女性より高い。

【年齢別】「(イ) 音楽」では年齢が高くなるほど『市内活動』の割合が高くなる傾向にある。

「(キ) 映像文化」では40歳代、50歳代で『市内活動』が100%となっている。

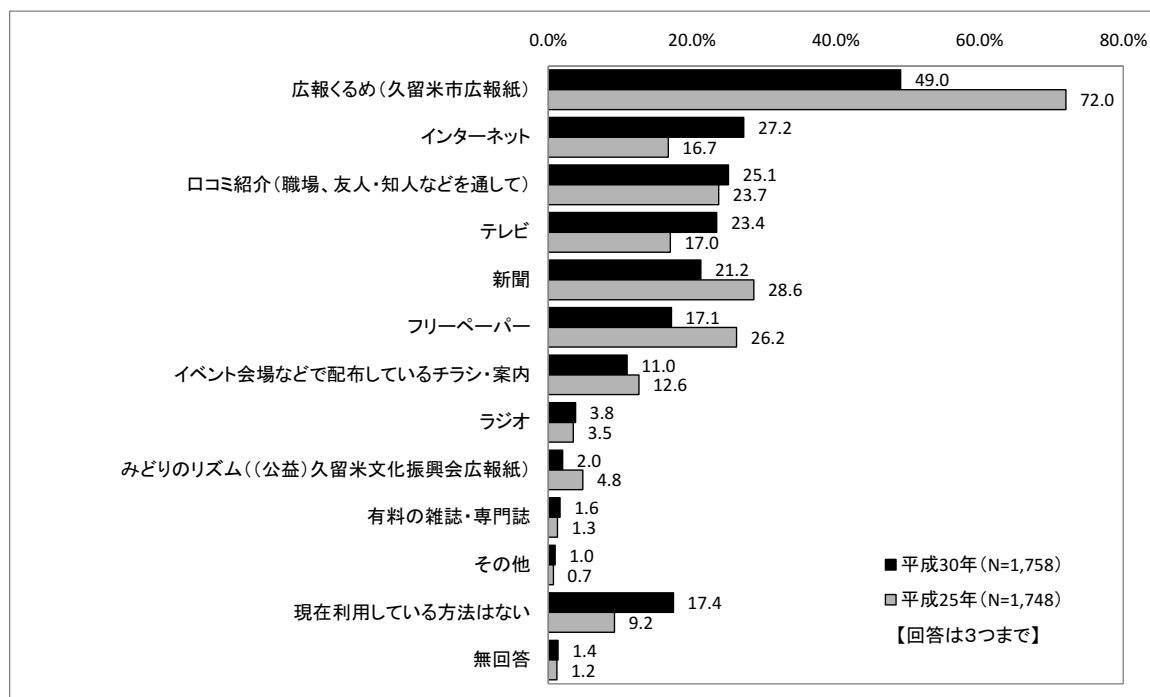
【ブロック別】「(キ) 映像文化」では東部A、北部A、中央東部、西部A（城島）、西部B（三瀨）で『市内活動』が100%と高い。

「(ア) 美術」では北部Aが100%と高い。

文化・芸術の活動場所(%)																			
		全体	標本数 (票)	『市内活動』	㊦美術	標本数 (票)	『市内活動』	㊩音楽	標本数 (票)	『市内活動』	㊪演劇・演芸	標本数 (票)	『市内活動』	㊫舞踊	標本数 (票)	『市内活動』	㊬伝統芸能	標本数 (票)	『市内活動』
全体			319	74.0		103	66.0		72	65.3		18	50.0		26	65.3		4	100.0
性別	男性		116	69.0		34	67.6		25	68.0		8	62.5		5	40.0		3	100.0
	女性		200	77.5		68	66.2		47	63.8		10	40.0		20	70.0		1	100.0
	回答しない		2	0.0		1	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0
年齢別	18～29歳		44	54.5		13	38.5		9	33.3		3	0.0		2	0.0		0	0.0
	30歳代		30	66.7		11	36.4		12	58.3		2	50.0		2	50.0		0	0.0
	40歳代		44	81.8		10	60.0		14	71.4		2	50.0		3	33.3		0	0.0
	50歳代		55	72.7		16	62.5		8	75.0		4	100.0		5	40.0		0	0.0
	60歳代		80	75.0		26	76.9		15	60.0		5	60.0		8	87.5		3	100.0
	70歳以上		65	84.6		27	85.2		14	85.7		2	0.0		5	100.0		1	100.0
ブロック別	東部A		20	70.0		4	50.0		3	100.0		0	0.0		3	66.7		0	0.0
	東部B(田主丸)		24	70.8		9	44.4		5	60.0		1	0.0		2	50.0		0	0.0
	北部A		28	82.1		5	100.0		7	71.4		1	100.0		2	100.0		0	0.0
	北部B(北野)		15	73.3		4	25.0		3	66.7		0	0.0		2	50.0		0	0.0
	中央東部		44	81.8		14	71.4		8	87.5		3	66.7		5	60.0		1	100.0
	南東部		34	79.4		12	75.0		8	62.5		3	0.0		5	80.0		0	0.0
	中央部		48	62.5		16	75.0		11	54.6		3	66.7		3	33.3		0	0.0
	中央南部		50	74.0		16	56.3		14	64.3		2	100.0		1	100.0		1	100.0
	南西部		29	82.8		11	81.8		7	71.4		2	0.0		1	0.0		1	100.0
	西部A(城島)		13	76.9		7	57.1		5	40.0		2	100.0		2	100.0		1	100.0
西部B(三猪)		13	46.2		5	60.0		1	0.0		1	0.0		0	0.0		0	0.0	
		㊭生活文化	標本数 (票)	『市内活動』	㊮映像文化	標本数 (票)	『市内活動』	㊯文芸	標本数 (票)	『市内活動』	㊰歴史・郷土文化	標本数 (票)	『市内活動』	㊱その他	標本数 (票)	『市内活動』			
全体			84	78.6		71	88.8		7	42.9		71	53.5		19	73.7			
性別	男性		13	69.2		21	90.5		3	0.0		40	50.0		9	77.8			
	女性		71	80.2		50	88.0		4	75.0		30	60.0		10	70.0			
	回答しない		0	0.0		0	0.0		0	0.0		1	0.0		0	0.0			
年齢別	18～29歳		5	80.0		16	81.3		1	0.0		7	0.0		1	0.0			
	30歳代		7	57.2		6	66.7		1	0.0		4	100.0		0	0.0			
	40歳代		16	75.0		12	100.0		0	0.0		9	66.6		1	100.0			
	50歳代		14	71.4		8	100.0		1	0.0		12	66.7		7	85.7			
	60歳代		26	80.8		18	94.5		4	75.0		20	40.0		5	100.0			
	70歳以上		16	93.8		11	81.8		0	0.0		19	63.2		5	40.0			
ブロック別	東部A		2	100.0		4	100.0		0	0.0		5	40.0		2	50.0			
	東部B(田主丸)		12	75.0		5	80.0		1	100.0		1	0.0		3	66.7			
	北部A		5	60.0		6	100.0		0	0.0		5	80.0		2	100.0			
	北部B(北野)		5	100.0		4	75.0		0	0.0		2	50.0		0	0.0			
	中央東部		11	90.9		12	100.0		1	0.0		9	55.5		1	100.0			
	南東部		11	72.7		8	87.5		2	50.0		10	60.0		4	75.0			
	中央部		12	66.6		7	71.4		1	0.0		16	50.0		1	0.0			
	中央南部		8	87.5		16	87.5		0	0.0		13	53.9		3	66.7			
	南西部		9	88.9		5	80.0		1	100.0		5	80.0		1	100.0			
	西部A(城島)		3	100.0		3	100.0		1	0.0		4	25.0		1	100.0			
	西部B(三猪)		5	40.0		1	100.0		0	0.0		1	0.0		1	100.0			

5－3 文化芸術活動に参加するための情報の入手方法

問 29 文化芸術の鑑賞や活動に参加するための情報をどのような方法で入手していますか。
次の中から3つまで（2つ以内でもかまいません）選び、番号に○印をつけてください。



●文化芸術の鑑賞や活動の情報源では「広報くるめ」が49.0%。

◆属性別特徴

【性別】女性は「広報くるめ（久留米市広報紙）」「ロコミ紹介（職場、友人・知人などを通して）」などで男性と比較して割合が高く、男性は「現在利用している方法はない」などで女性と比較して割合が高い。

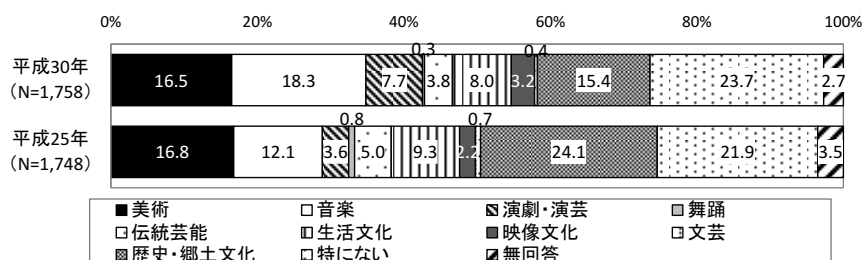
【年齢別】「広報くるめ（久留米市広報紙）」は年齢が高くなるほど割合も高くなる傾向にあり、「インターネット」は、年齢が低くなるほど割合が高くなる傾向にある。

【ブロック別】「広報くるめ（久留米市広報紙）」は東部A、南東部、南西部が他のブロックよりやや高い。「インターネット」は北部A、中央部が他のブロックよりやや高い。

		標本数（票）	文化芸術活動に参加するための情報の入手方法（％）												
			広報くるめ（久留米市広報紙）	みどりのリズム（公益）久留米文化振興会広報紙）	新聞	フリーペーパー	有料の雑誌・専門誌	インターネット	テレビ	ラジオ	ロコミ紹介（職場、友人・知人などを通して）	イベント会場などで配布しているチラシ・案内	その他	現在利用している方法はない	無回答
全体		1,758	49.0	2.0	21.2	17.1	1.6	27.2	23.4	3.8	25.1	11.0	1.0	17.4	1.4
性別	男性	755	42.4	1.2	23.0	13.8	1.3	27.3	22.0	4.8	20.0	8.7	0.4	22.3	0.9
	女性	984	54.4	2.6	19.9	19.9	1.9	26.7	24.7	3.0	29.2	12.6	1.4	13.4	1.7
	回答しない	15	33.3	0.0	20.0	0.0	0.0	53.3	13.3	6.7	13.3	13.3	0.0	33.3	0.0
年齢別	18～29歳	214	23.8	0.9	8.4	14.5	1.4	49.5	27.6	4.2	24.3	7.9	1.4	20.1	0.0
	30歳代	271	39.1	0.4	4.8	25.5	2.2	42.8	17.0	3.3	23.2	8.1	2.2	21.8	1.8
	40歳代	318	49.7	0.9	12.3	23.3	1.6	36.2	22.0	3.8	23.3	12.3	0.6	16.0	0.6
	50歳代	332	52.4	3.3	21.4	23.2	1.5	26.8	23.8	4.5	25.9	14.5	0.3	13.0	0.9
	60歳代	363	59.5	2.5	34.2	9.9	1.9	11.0	25.3	4.1	28.1	12.7	0.6	17.1	2.5
	70歳以上	249	61.8	3.6	42.6	5.2	1.2	4.8	25.7	2.8	25.3	7.6	0.8	17.7	2.0
ブロック別	東部A	128	53.9	3.1	24.2	12.5	2.3	23.4	25.8	8.6	21.1	10.9	0.0	13.3	2.3
	東部B(田主丸)	101	43.6	0.0	21.8	13.9	1.0	22.8	20.8	3.0	37.6	9.9	2.0	15.8	4.0
	北部A	155	51.0	1.9	15.5	18.1	0.0	31.0	23.2	4.5	20.0	7.7	1.3	19.4	1.3
	北部B(北野)	106	34.9	0.0	27.4	11.3	0.9	27.4	21.7	2.8	29.2	8.5	1.9	20.8	1.9
	中央東部	225	48.4	4.0	17.8	18.2	1.8	27.1	20.0	3.6	29.8	13.3	1.3	18.2	0.4
	南東部	171	53.2	1.8	24.6	18.1	1.2	24.0	23.4	1.2	26.3	7.0	0.6	17.5	1.2
	中央部	227	47.1	4.0	17.2	21.1	3.1	30.8	22.9	4.8	24.7	12.8	0.9	17.6	1.3
	中央南部	313	49.5	1.9	21.4	18.5	1.9	27.2	22.0	2.9	21.4	12.5	1.3	19.2	0.6
	南西部	157	54.1	0.6	26.1	16.6	0.0	27.4	29.3	5.1	23.6	8.9	0.0	15.3	1.3
	西部A(城島)	72	48.6	0.0	22.2	12.5	4.2	20.8	33.3	4.2	22.2	9.7	0.0	18.1	1.4
	西部B(三瀧)	98	50.0	0.0	21.4	16.3	2.0	29.6	20.4	1.0	25.5	17.3	1.0	13.3	2.0

５－４ 文化芸術のまちづくりのために特色を出したらよいと思う分野

問 30 久留米市が、文化芸術によるまちづくりを進める上で、どのような分野に特色を出していくと良いと思いますか。（あてはまる番号に1つだけ○印）



●文化芸術によるまちづくりを進めるために特色を出したらよいと思う分野では「音楽」が18.3%。

◆属性別特徴

【性別】女性は「演劇・演芸」などで男性と比較して割合が高く、男性は「歴史・郷土文化」などで女性と比較して割合が高い。

【年齢別】「歴史・郷土文化」は年齢が高くなるほど割合も高くなる傾向にある。

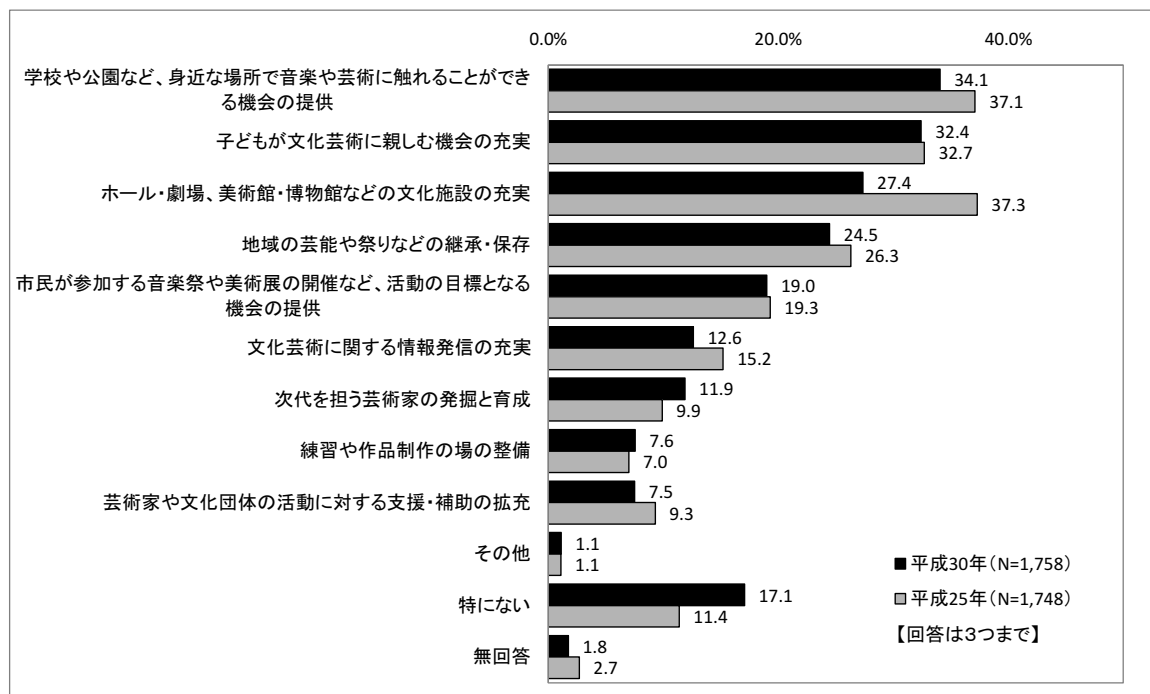
【ブロック別】「美術」は中央東部、中央部が他のブロックよりやや高い。

「伝統芸能」は西部A（城島）が他のブロックより高い。

		標 本 数 （ 票 ）	文化芸術のまちづくりのために特色を出したらよいと思う分野（％）										
			美術	音楽	演劇・演芸	舞踊	伝統芸能	生活文化	映像文化	文芸	歴史・郷土文化	特にない	無回答
全体		1,758	16.5	18.3	7.7	0.3	3.8	8.0	3.2	0.4	15.4	23.7	2.7
性別	男性	755	15.4	17.0	5.2	0.1	3.2	9.0	2.8	0.1	17.9	27.8	1.6
	女性	984	17.2	19.2	9.9	0.4	4.2	7.3	3.6	0.6	13.4	20.7	3.6
	回答しない	15	26.7	20.0	0.0	0.0	6.7	6.7	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0
年齢別	18～29歳	214	19.6	22.4	6.1	0.5	1.4	7.9	5.6	0.9	8.4	26.6	0.5
	30歳代	271	18.8	18.1	8.5	0.0	3.3	6.6	4.4	0.0	12.2	25.1	3.0
	40歳代	318	14.8	20.8	10.4	0.6	2.5	9.1	3.1	0.3	15.1	20.8	2.5
	50歳代	332	17.2	24.1	6.9	0.0	3.3	9.9	2.4	0.3	16.3	17.5	2.1
	60歳代	363	14.9	16.0	7.7	0.3	5.0	6.3	2.5	0.0	19.6	24.0	3.9
	70歳以上	249	14.9	6.8	6.4	0.4	6.8	8.0	2.0	1.2	18.5	31.3	3.6
ブロック別	東部A	128	14.1	18.0	4.7	1.6	3.9	9.4	3.1	0.0	19.5	23.4	2.3
	東部B(田主丸)	101	14.9	19.8	6.9	1.0	5.0	8.9	0.0	0.0	15.8	22.8	5.0
	北部A	155	12.3	18.1	7.1	0.0	1.3	10.3	2.6	0.0	14.2	31.6	2.6
	北部B(北野)	106	17.0	12.3	4.7	0.0	2.8	9.4	3.8	0.9	18.9	28.3	1.9
	中央東部	225	22.7	19.1	6.7	0.0	4.9	8.0	3.6	0.4	16.0	17.3	1.3
	南東部	171	17.5	17.5	10.5	0.6	2.3	9.4	3.5	0.0	18.1	18.7	1.8
	中央部	227	20.3	18.9	7.5	0.0	2.2	8.4	1.8	0.0	14.5	25.6	0.9
	中央南部	313	17.6	19.2	9.3	0.3	3.8	5.8	2.6	1.0	12.5	25.2	2.9
	南西部	157	14.0	16.6	7.6	0.0	3.8	7.0	6.4	0.6	17.8	21.0	5.1
	西部A(城島)	72	11.1	19.4	4.2	0.0	12.5	6.9	2.8	1.4	11.1	27.8	2.8
	西部B(三猪)	98	8.2	22.4	13.3	0.0	4.1	7.1	5.1	0.0	11.2	22.4	0.0

5-5 文化芸術のまちづくりのための取り組み

問 31 久留米市が今後、文化芸術によるまちづくりを進める上で、特にどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。次の中から3つまで（2つ以内でもかまいません）選び、番号に○印をつけてください。



●文化芸術のまちづくりのための取り組みでは「学校や公園など、身近な場所で音楽や芸術に触れることができる機会の提供」が34.1%。

◆属性別特徴

【性別】女性は「学校や公園など、身近な場所で音楽や芸術に触れることができる機会の提供」などで男性と比較して割合が高く、男性は「地域の芸能や祭りなどの継承・保存」などで女性と比較して割合が高い。

【年齢別】「地域の芸能や祭りなどの継承・保存」は年齢が高くなるほど割合も高くなる。

【ブロック別】「学校や公園など、身近な場所で音楽や芸術に触れることができる機会の提供」「子どもが文化芸術に親しむ機会の充実」は西部B（三潴）が他のブロックより高い。

「学校や公園など、身近な場所で音楽や芸術に触れることができる機会の提供」「地域の芸能や祭りなどの継承・保存」は東部B（田主丸）が他のブロックより高い。

		標本数（票）	文化芸術のまちづくりのための取り組み（%）											
			ホール・劇場、どの文化施設・博物館などの文化施設の充実	学校や公園など、身近な場所での音楽や芸術に触れることができる機会の提供	子どもが文化芸術に親しむ機会の充実	市民が参加する音楽祭や美術展の開催など、活動の目標となる機会の提供	練習や作品制作の場の整備	芸術家や文化団体の活動に対する支援・補助の拡充	次代を担う芸術家の発掘と育成	地域の芸能や祭りなどの継承・保存	文化芸術に関する情報発信の充実	その他	特にない	無回答
全体		1,758	27.4	34.1	32.4	19.0	7.6	7.5	11.9	24.5	12.6	1.1	17.1	1.8
性別	男性	755	26.2	28.6	33.1	17.2	7.0	8.3	13.0	27.0	11.3	1.6	20.0	1.7
	女性	984	27.9	38.2	31.8	20.4	7.8	6.7	11.1	22.6	13.7	0.8	14.8	1.8
	回答しない	15	40.0	46.7	33.3	13.3	20.0	6.7	6.7	20.0	13.3	0.0	20.0	0.0
年齢別	18～29歳	214	31.3	35.5	33.6	14.0	12.1	8.4	12.1	19.6	11.7	1.9	16.8	0.0
	30歳代	271	26.6	36.2	39.1	15.1	7.4	6.6	11.8	24.4	12.2	1.5	14.0	2.2
	40歳代	318	28.9	41.2	37.4	14.5	6.3	7.9	12.3	22.6	12.6	0.9	14.5	1.3
	50歳代	332	28.9	37.3	31.0	20.8	8.1	6.9	13.3	23.8	13.0	1.2	13.3	2.1
	60歳代	363	26.2	30.9	28.9	24.0	6.3	7.7	10.2	27.8	14.3	0.8	19.0	3.0
	70歳以上	249	22.1	22.5	24.9	23.7	6.8	7.6	11.6	28.1	11.2	0.8	25.3	1.2
ブロック別	東部A	128	27.3	25.0	32.8	20.3	7.8	4.7	11.7	22.7	10.9	0.8	18.0	3.1
	東部B(田主丸)	101	16.8	40.6	31.7	18.8	10.9	5.9	8.9	29.7	9.9	1.0	13.9	4.0
	北部A	155	23.9	34.8	32.3	18.1	7.7	4.5	10.3	24.5	14.2	1.3	20.0	1.3
	北部B(北野)	106	25.5	34.0	33.0	16.0	7.5	9.4	16.0	22.6	13.2	1.9	17.9	1.9
	中央東部	225	28.9	36.9	31.1	22.2	7.1	10.2	12.4	23.6	13.3	1.8	13.3	2.2
	南東部	171	28.7	35.1	34.5	12.9	8.2	11.7	9.4	28.1	15.2	0.6	15.2	1.2
	中央部	227	29.5	33.5	35.2	20.7	8.4	6.2	14.1	26.0	14.1	0.9	15.4	1.3
	中央南部	313	30.0	28.1	29.1	20.8	6.4	7.3	12.8	20.4	12.5	1.9	20.1	1.3
	南西部	157	28.0	36.9	32.5	17.2	4.5	7.0	12.1	26.1	12.7	0.6	16.6	1.3
	西部A(城島)	72	22.2	31.9	20.8	22.2	8.3	9.7	9.7	25.0	9.7	0.0	25.0	0.0
	西部B(三潴)	98	29.6	45.9	43.9	16.3	10.2	5.1	9.2	24.5	7.1	0.0	14.3	3.1

考 察 ―文化・芸術―

この1年間での文化芸術の鑑賞経験についてみると、「映像文化（映画、ビデオ上映会など）」が34.5%で最も高く、「美術（絵画、書、彫刻、写真、工芸など）」30.3%、「音楽（ポピュラー、クラシック、邦楽など）」26.7%、「演劇・演芸（演劇、ミュージカル、サーカス、落語など）」15.4%、「歴史・郷土文化（史跡めぐり、歴史講演会など）」13.6%などが続いている。平成25年調査と比較すると、上記5項目では鑑賞率がそれぞれ約3ポイントから5ポイント増加しており、「この1年間で鑑賞したものはない」も39.1%から34.8%に減少している。久留米市においては平成28年4月にホールやスタジオ、展示室などを備えた文化交流施設である久留米シティプラザが開館しており、コンサートや演劇、イベントなど様々な催しが開催されている。また、同年11月に久留米市美術館が開館し、全国的な巡回展の誘致や、石橋文化センターをひとつのミュージアムと捉えた活動として園内の施設やイベントとの連携などの取組みにより、当初の入館者目標を大きく上回っている。さらに、民間の映画館においてもリニューアルが進められるなど、文化芸術を鑑賞するための環境の整備と機会の増加により、市民の鑑賞経験も増加したものと考えられる。

文化芸術の鑑賞を市内、市外どちらで行ったかをみると、「映像文化」81.1%、「生活文化（茶・華道、フラワーアレンジメント、手芸など）」74.0%、「舞踊（日本舞踊、バレエ、ダンスなど）」60.6%で市内での鑑賞が高くなっている。「美術」は「市内」と「市外」がほぼ拮抗、「音楽」「演劇・演芸」「伝統芸能」「歴史、郷土文化」は「市外」が「市内」を上回っている。映画の場合はいわゆるミニシアターで上映されるような作品を除けば全国どの劇場でも同じ作品を鑑賞することが可能だが、「美術」「音楽」「演劇・演芸」「伝統芸能」などは、特に話題の企画は大都市部の会場で開催されることが多く、市外での鑑賞も多くなるものと推測される。熱心なファン以外にとってはどうしてもテレビ等で宣伝されるような作品・企画に目が行くものと思われるが、市内で開催される作品・企画について、市民の関心を高めるような広報を充実し、市内での鑑賞経験の増加につなげたいところである。

同居家族別に鑑賞経験と鑑賞場所をみてみると、就学前の子どもがいる人では「美術」「音楽」をはじめとして鑑賞率がやや低くなっている一方、鑑賞場所は「市内」が高い傾向がみられる。子どもが小さいうちは美術や音楽の鑑賞には行きづらい面があるかと思われるが、身近な場で開催されれば鑑賞にも出かけやすいと

●同居家族別にみた文化芸術の鑑賞経験

		標本数（票）	美術（絵画、書、彫刻、写真、工芸など）	音楽（ポピュラー、クラシック、邦楽など）	演劇・演芸（演劇、ミュージカル、サーカス、落語など）	舞踊（日本舞踊、バレエ、ダンスなど）	伝統芸能（能、狂言、歌舞伎など）	生活文化（茶・華道、フラワーアレンジメント、手芸など）	映像文化（映画、ビデオ上映会など）	文芸（小説や詩歌の講演会、短歌大会など）	歴史・郷土文化（史跡めぐり、歴史講演会など）	その他	この1年間で鑑賞したものはない	無回答
全体		1,758	30.3	26.7	15.4	5.3	3.2	9.6	34.5	1.4	13.6	0.9	34.8	2.7
同居家族（M）	就学前の子どもがいる	208	20.2	19.7	13.5	5.3	1.4	5.3	30.8	1.9	9.6	1.0	37.5	2.9
	小学生がいる	206	28.6	26.2	14.1	5.3	2.9	7.3	38.8	1.5	13.1	0.5	30.1	2.9
	中学生がいる	152	25.7	23.7	10.5	5.3	4.6	7.9	36.2	2.0	14.5	0.0	37.5	2.6
	上記以外の18歳未満の子どもがいる	166	27.1	33.1	16.3	1.8	1.8	10.2	39.8	0.6	12.0	1.2	33.1	2.4
	65歳以上の人がいる	658	35.0	29.2	15.0	6.2	3.8	12.6	33.7	1.5	13.8	0.9	33.4	3.0
	障害者手帳所持者がいる（本人含む）以上にあてはまる人はいない	190	34.2	29.5	18.4	6.8	3.2	11.6	36.3	1.6	14.2	1.6	35.3	1.6
		569	28.3	26.9	15.5	5.1	3.7	8.4	34.8	1.2	14.9	0.9	36.2	2.3

いうことであろう。市内での文化・芸術の鑑賞経験を増加させるためには、子ども・親子向けの内容や託児つきでの企画を検討したり、「くるめ街かど音楽祭」のように屋外で開催される企画の充実を図るなど、小さな子どもづれでも気軽に文化芸術の鑑賞ができる環境をさらに整備することも一案だと思われる。

●同居家族別にみた文化芸術の鑑賞場所

		⑦ 美術		⑧ 音楽		⑨ 演劇・演芸		⑩ 舞踊		⑪ 伝統芸能				(%)
		標本数(票)	『市内鑑賞』	標本数(票)	『市内鑑賞』	標本数(票)	『市内鑑賞』	標本数(票)	『市内鑑賞』	標本数(票)	『市内鑑賞』	標本数(票)	『市内鑑賞』	
全体		533	55.8	469	47.8	270	43.4	94	60.6	57	24.6			
同居家族(M)	就学前の子どもがいる	42	54.8	41	56.1	28	53.6	11	54.5	3	33.3			
	小学生がいる	59	61.0	54	51.9	29	41.3	11	63.6	6	33.3			
	中学生がいる	39	46.2	36	55.5	16	31.3	8	37.5	7	14.3			
	上記以外の18歳未満の子どもがいる	45	40.0	55	49.1	27	44.4	3	0.0	3	66.7			
	65歳以上の人がいる	230	60.9	192	52.7	99	48.5	41	73.2	25	32.0			
	障害者手帳所持者がいる(本人含む)	65	53.8	56	51.8	35	65.7	13	76.9	6	16.7			
	以上にあてはまる人はいない	161	51.6	153	42.5	88	30.7	29	44.8	21	14.3			
全体		169	74.0	607	81.1	24	50.0	239	42.7	16	68.8			
同居家族(M)	就学前の子どもがいる	11	54.6	64	90.7	4	75.0	20	70.0	2	50.0			
	小学生がいる	15	86.7	80	88.8	3	66.7	27	55.5	1	100.0			
	中学生がいる	12	58.3	55	80.0	3	33.3	22	50.0	0	0.0			
	上記以外の18歳未満の子どもがいる	17	58.8	66	81.8	1	0.0	20	15.0	2	50.0			
	65歳以上の人がいる	83	78.3	222	79.3	10	60.0	91	47.3	6	83.4			
	障害者手帳所持者がいる(本人含む)	22	77.2	69	81.1	3	100.0	27	44.4	3	100.0			
	以上にあてはまる人はいない	48	70.8	198	78.8	7	42.9	85	38.8	5	80.0			

また、鑑賞率、鑑賞場所ともに居住ブロックによってかなりばらつきがみられる。当然のことながら、施設・イベント会場へのアクセスがしやすいかどうかは、鑑賞に出かけるかどうかにも大きく影響すると思われる。会場へのアクセス向上やアウトリーチ※による鑑賞機会の充実など、ブロック間の差を解消するような取り組みが必要である。

※アウトリーチ……公的機関、公共的文化施設などが行う、地域への出張サービス。

この1年間の文化芸術の活動経験については、鑑賞経験と異なりほとんど変化はみられない。「この1年間で活動したものはない」が平成25年調査より約5ポイント増加しているが、「無回答」が4ポイント減少しているため、全体の活動率には大きな変化はないと考えてよいだろう。

久留米市では平成27年3月に「市民が主役の楽しい文化創造都市・久留米」を理念とする「久留米市文化芸術振興基本計画（平成27年度～31年度）」を策定しており、「最近1年間に鑑賞した文化芸術が1つ以上ある市民の割合」70%以上、「最近1年間に活動した文化芸術が1つ以上ある市民の割合」30%以上、「鑑賞、活動があると回答した市民のうち、その場が久留米市内である割合が80%以上」という総括目標を掲げている。目標値には達していないものの文化・芸術の鑑賞経験は増加したが、市民による活動の活発化には結びついていない。今後は市民の文化・芸術活動をいかに活性化するかが課題だが、活動は鑑賞以上に主体性や能動性を要するため、困難も予想される。そのような中、18～29歳の人で「映像文化」の活動率がわずかではあるが高いというのは注目できる点かもしれない。おそらくスマートフォン等での動画撮影や編集作業を念頭に置いた回答が含まれているのではと推測されるが、実際にはスマートフォン等での撮影・編集を経験していても、それを文化・芸術活動だとは捉えていない人も多いだろう。また、書道、絵画作成、塗り絵などがスマートフォンやタブレット端末上で体験できるアプリも数多く配信されている。スマートフォンでの写真・動画撮影講座やアプリで作成した作品の募集など、スマートフォンを活用した文化・芸術活動を積極的に打ち出すことで、活動へのハードルを下げることもできるのではないかな。

文化芸術活動に参加するための情報の入手方法としては、「広報くるめ」49.0%、「インターネット」27.2%、「口コミ紹介（職場、友人・知人などを通して）」25.1%、「テレビ」23.4%、「新聞」21.2%などとなっている。平成25年調査と比較すると、「広報くるめ」が抜きんでいることには変わりはないものの、回答率は72.0%から大幅に低下している。また、「新聞」「フリーペーパー」なども回答率が大きく低下しており、紙媒体中心であった情報入手の方法が近年大きく変化していることがうかがえる。今後は紙媒体に加えてインターネットでの情報提供をさらに充実させることが重要だと思われるが、利用しているインターネットサービス別にみると、特にフェイスブック、ツイッター、インスタグラムを利用している層でインターネットでの情報入手率が高い。したがって、ホームページへの掲載だけではなく、SNSを活用した情報提供にも注力する必要があるだろう。

●利用しているインターネットサービス別にみた文化芸術活動に参加するための情報の入手方法（%）

		標本数（票）	広報くるめ（久留米市広報紙）	みどりのリズム（公益久留米文化振興会広報紙）	新聞	フリーペーパー	有料の雑誌・専門誌	インターネット	テレビ	ラジオ	口コミ紹介（職場、友人・知人などを通して）	イベント会場などで配布しているチラシ・案内	その他	現在利用している方法はない	無回答
	全体	1,758	49.0	2.0	21.2	17.1	1.6	27.2	23.4	3.8	25.1	11.0	1.0	17.4	1.4
利用しているインターネットサービス（M）	メールマガジン	347	54.5	2.3	15.0	27.4	2.6	48.4	23.3	2.6	29.1	10.7	1.7	6.9	0.6
	ツイッター	227	30.0	0.9	9.3	21.1	2.6	60.4	26.4	3.5	28.6	9.7	1.3	12.8	0.4
	フェイスブック	267	44.9	2.2	10.9	23.2	1.5	50.2	20.2	2.2	29.2	13.1	1.5	13.1	1.5
	LINE(ライン)	899	46.5	1.3	15.4	21.6	1.8	38.9	23.4	3.7	27.6	11.3	1.0	14.1	0.9
	インスタグラム	310	38.1	2.3	10.0	22.9	1.6	52.9	21.0	2.3	31.0	14.2	1.6	12.6	1.3
	その他利用しているサービス	56	55.4	3.6	23.2	28.6	0.0	37.5	10.7	1.8	26.8	12.5	1.8	12.5	0.0
	上記のどれも利用していない	248	53.2	2.4	29.8	9.3	1.6	12.9	23.0	5.2	23.0	10.1	0.8	19.0	2.4

文化芸術を活かしたまちづくりのために久留米市が特色を出すべき分野としては、「音楽」が18.3%で平成25年調査より6.2ポイント増加した。また、「演劇・演芸」も4.1ポイント増加しており、シティプラザが開館したことの影響だと思われる。文化芸術のまちづくりのために久留米市が力を入れるべきこととしても、平成25年調査で37.3%で第1位だった「ホール・劇場、美術館・博物館などの文化施設の充実」は27.4%と約10ポイント値を下げ順位も第3位となっており、5年前よりも優先度は低下している。それ以外の項目については数値や順位に目立った変動はなく、「学校や公園など、身近な場所で音楽や芸術に触れることができる機会の提供」34.1%、「子どもが文化芸術に親しむ機会の充実」32.4%、「地域の芸能や祭りなどの継承・保存」24.5%などが上位となっている。一方で、力を入れるべきことは「特になし」が平成25年調査の11.4%から17.1%に増加していることがやや気かりである。文化芸術を活かしたまちづくりを目指すにあたっては、施設の内外を問わず子どもを含めた市民が文化芸術に親しむ機会を充実させつつ、市民の文化芸術への関心を喚起し、文化芸術活動への積極的かつ主体的な参画を促進することが望まれる。

(分析者 武藤桐子)